

日本学術会議
政治学委員会民主主義の深化と退行に関する比較政治分科会（第26期・第4回）
議事録

開催日時 2025年5月13日（火）20:00～21:45

開催場所 オンライン開催の遠隔会議（Zoom ミーティング）

出席者：大串和雄（委員長）、宇山智彦、鈴木基史、遠藤貢、粕谷祐子、久保慶一、武田宏子、竹中千春、中田瑞穂、野田昌吾、三浦まり

オブザーバー参加者：谷口尚子（政治学委員会 現代政治過程における課題分析・制度設計分科会委員長）、三尾裕子（第一部総合ジェンダー分科会委員長）、岩井紀子、芳賀満（第一部総合ジェンダー分科会委員）

ジェンダー法分科会参加者：13名

欠席者：宮本太郎

議事概要

0. 参加者自己紹介

審議に先立ち、大串委員長より、本会合はジェンダー法分科会との合同開催であり、また政治学委員会 現代政治過程における課題分析・制度設計分科会、第一部総合ジェンダー分科会からもオブザーバー参加がある旨の説明があり、参加者の簡単な自己紹介が行われた。

1. 見解「女性の政治参画を進めるための制度改革と環境整備について」（案）の審議

事前に委員に回覧されている見解「女性の政治参画を進めるための制度改革と環境整備について」（案）に関する意見交換が行われた。参加者から、見解要旨に示される方策提案の掲載順やその内容、本文における記述の文言・内容などについて意見が示され、大串委員長・三浦委員より、示された意見に従って見解案の微修正を行いたいとの返答があった。

最後に、大串委員長より、本日参加者から示された意見をもとに見解案の微修正を行うことを前提として見解案を承認する提案があり、全会一致で承認された。